

【教育理念】

「何のために」を追求

「今、何のために学んでいるのか」等、常に将来の自分を意識して学んでください。

勉強も、国家試験も、就職も、そして、人生も、すべては「自分事」です。

誠実に日々の学生生活を送ることが、進路実現、自己実現のエキスです。

「与えられる学び」ではなく、自己の「意思ある学び」こそが大切です。

「社会が求める人材」の育成

社会のニーズに配慮した「現場に強い人材」の育成を目指します。

本校では、各学科の「専門力を含めた人間としての総合力」の育成に努めつつ、

関係施設等の連携を通して、各分野における「実践的な力」を育成します。

「人格の形成」

誠実（あいさつ・心くばり）、気力（体力・集中力）、知恵（感性・思考）、

行動（意識・存在感）の4つの視点から指導を行い「人間力の向上」に努めます。

「確かな専門力」、「豊かな人間力」、「逞しい体力」を育み、相手の立場に立って考えることができる医療人を育てます。

「社会に貢献」

学内の学びにとどまらず、地域や社会に出てボランティア活動や支援活動、行事等への積極的な参加を通して、「自己を知る」、「地域を知る」、「人を知る」、「社会を知る」ための学びを推進します。人として生き、人と共に生き、人のために生きるプロフェッショナルの育成を目指します。

【ビジョン】

「地域の医療・福祉を包括的に支援できる組織になる」

□ ビジョン実現に向けたテーマ

地域社会から必要とされる組織であり続ける

地域社会から必要とされる人材を提供する

アドミッションポリシー（本学が求める人材）

岩永学園では次のような人たちの入学を求めます。

- ・高等学校の教育課程を修得している人。若しくはそれと同等以上の学力があると認められる人。
- ・学びたい学科があり、学んだ知恵や行動力を、地域社会で活かそうと考えている人。
- ・医療福祉や日本語の教育受けることに関心と気力が持ち、勉学に誠実に向き合うことができる人。
- ・部活動、ボランティア活動などに積極的に取り組み、社会に貢献することを希望する人。

以上の受入れの方針に沿った入学者の適正な選抜を実施いたします。

選考結果については、入学希望者の資質・能力を総合的に評価します。

カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

岩永学園では、卒業認定・称号授与に必要とされる能力を習得するために、医療分野の学科（理学療法科、スポーツ柔整科、柔道整復科、スポーツ鍼灸科、健康鍼灸科）では「基礎分野」「専門基礎分野」「専門分野」の3分野に、社会福祉分野の学科（介護福祉科）では「人間と社会」「介護」「こころとからだのしくみ」「医療的ケア」の4分野に、文化・教養分野の学科（日本語科）では「日本語初級」「日本語初中級」「日本語中級」「日本語上級」の4分野に教育課程を分け、それぞれ段階的に科目を編成し、専門的な知識と技能を習得していきます。

また、各種実習活動（臨床実習や介護実習）を通して職業理解を更に促進し、職業人として必要な高い倫理観やコミュニケーション能力を身につけ、地域社会とその業界から求められる人物像を具体的に構築していきます。

授業は実技・実習・演習・講義の形式で進行しますが、主体性や協働性を高めることを目的としたグループ学習の導入、国家試験や日本語能力試験合格を見据えた模擬試験等も行われます。

授業の成績評価は、実技を含む定期試験や小テストを含む中間試験の結果、レポート課題、授業態度や出席状況等により行います。評価の結果、学習成果が一定の水準に達したと担当教員が認めた場合に単位が認定されます。

ディプロマポリシー（卒業認定・称号授与の方針）

岩永学園では、各学科の教育カリキュラムに定められた単位を修得し

- ・国家試験や日本語能力試験 N3 に合格するための知識を備えている。
- ・医療福祉の専門職としての技能を習得し、高い倫理観とコミュニケーション能力を身につけている。
- ・地域に貢献する意欲を持ち、地域社会から必要とされる。
- ・国民の健康維持や疾病予防に関心を持ち、主体的な問題発見能力と他者との協働した問題解決能力を有する。

と認められた者に対し、卒業認定・称号を授与します。